

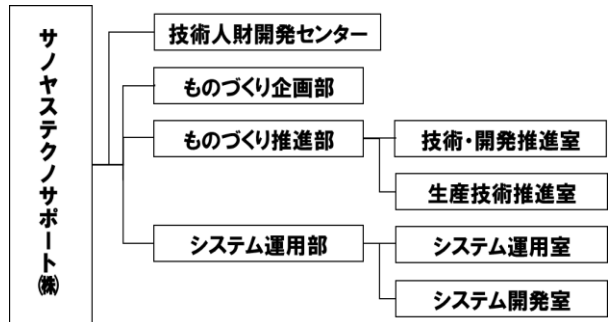
ものづくりラボオープンについて

2024年5月15日

サノヤステクノサポート株式会社

サノヤホールディングスでは、この春に新中期経営計画を発表し、事業成長エンジン強化とイノベーションを掲げ、新たなステップに向け取組みを強化しています。

サノヤステクノサポート（STS）としては、技術開発と人材育成をさらに強化推進するために組織を一部変更し、併せて「ものづくりラボ」を移転・拡張しリニューアルを行いました。



STSは、サノヤグループの技術力・製造力強化を支援する目的で設立された会社で、そのミッションは“技術力でグループ傘下の事業会社を牽引し、会社の事業成長、技術・人材の強化に貢献することにあります。新中期経営計画では下記重点取組を設定し、事業会社と共にものづくり強化に取り組んでおります。

◇事業会社と新機能・新規商品を協同で開発し事業拡大に貢献する：

製品開発プロセスを革新、BtoB設備型商品の開発支援・メカトロを中心とした**先行技術開発**

◇事業会社のものづくり現場を強化する：**生産技術開発**、**生産プロセス革新**、**業務プロセス革新**

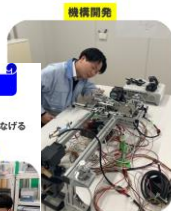
◇グループ横断活動でものづくりの底上げを図る：**人材育成**・**知財活動**・**経営支援活動**

ものづくりラボは2022年4月に加賀屋ビル3階に実験室として設置されました。各種実験や新製品開発の検討、人材育成としての技術研修等で活用していましたが、会議室の流用という事もあり作業制約があったうえ、手狭感も否めませんでした。

新中期経営計画の中でSTSとして全社の技術・開発力強化、新製品開発の推進を掲げており、今回、西加賀屋ビルに移転・拡張を行いました。1階フロアで面積も約1.7倍となり、小型であれば設備等の搬入も可能となっています。今後、実験・評価のみならず、開発・試作や実機検証を行うとともに、人材育成の場としての技術研修でも活用を図り、サノヤグループの更なる発展に寄与してまいります。

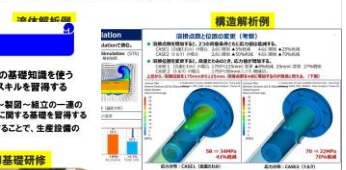


開発・試作・実験
サノヤステクノサポートで、技術探求、商品企画した新製品を開発、試作する。試作品の実証実験を行い、商品化の目途が立ればグループ内事業につなげる。



CAE (Computer Aided Engineering) 解析
コンピュータ上であらゆるシミュレーションを実施し、製品を検証する技術。実際の製品がない状態で検証を行えるので、時間・コストの削減、品質向上につながる。

- ◇ 構造解析：製品に力が加わった際どのような影響が出るのかを解析する
- ◇ 熱解析：製品を動かさせた場合にどのような影響が出るのかを解析する
- ◇ 流体解析：製品から発生する流体の流れを、安全に管理できるかまでを解析する
- ◇ 電界解析：空気や熱などが製品に与える細かい影響を解析する



実験・評価・分析

実験、実機評価等を行い、CAE解析の結果との差異分析を行う。結果をシミュレーションのパラメータにフィードバックし、CAE解析の精度向上につなげる。



技術研修

製造業における、ものづくりに強い人材を育成するため、設備設計の基礎知識を使う演習により、設計製図～ユニット組立、シーケンス制御までの実践スキルを習得する。

- ◇ 設備設計基礎研修：研修用メカロキットを使用し、解体～部品スクーター組立～組立の一連の演習を行うことで、測定技術、製造技術、機械構造に関する基礎知識を習得する。
- ◇ 電気制御基礎研修：研修用メカロキットを実際にプログラミングし制御することで、生産設備の制御の基礎について習得する。



サノヤホールディングス株式会社
サノヤステクノサポート株式会社

<https://www.sanoyas.co.jp/>

<https://sanoyas-techno-support.co.jp/>